

I 次代へつなく北信農業

重点取組 1

経営向上を目指す優れた担い手の育成

施策の展開方向に関する具体的な実行項目

○中核的経営体の確保と「カイゼン」等による生産性の向上

- ・農業経営カイゼン実践普及事業として、効率的なトヨタ方式の作業工程管理・改善手法の導入に取り組み、生産性の向上を図る。
- ・地域を守る集落営農組織や経営体の法人化支援や、円滑な運営ができる仕組みの検討と実践
- ・規模拡大など地域の経営目標を示すため、農業士・経営士、農村生活マイスターや農業女子などリーダー的な農業者グループの経営向上の取り組みを支援

*中核的経営体：認定農業者(個人・法人)、基本構想水準到達者、認定新規就農者、集落営農組織を含めたもの

○「農業道場」等による新規就農者の確保と育成

- ・市町村等関係機関の連携により、就農相談情報を共有して、各地域に適合した新規就農者を安定的に確保
- ・里親研修等各種事業を活用し、1ターン者等の新規就農希望者に適した研修を実施し、確実な就農を推進
- ・北信州農業道場を通じて、新規就農者などに対して、栽培を希望する作物の生産技術をはじめ、経営手法の習得や仲間づくりを支援
- ・就農計画作成を支援するとともに、農業次世代人材投資事業等各種支援事業の活用などにより、就農を希望する新規就農者の農業経営を早期安定化

○農業法人など主要な経営体を支えるサポート体制の構築

- ・経営体同士が協力して機械やオペレータ等の労力を融通するなど、効率的な作業を検討
- ・地域農業を担う経営体では管理しきれない水田の水管理や草刈りについて、集落等で支援体制が組めるよう支援

○多様な雇用労力の安定的確保

- ・外国人技能実習制度等の活用における受け入れ法人の技術習得体制の整備や経営安定への支援
- ・農福連携などを通して、様々な就業者が、能力に合った雇用機会を確保できるよう支援

○農地の利用集積による規模拡大の促進（農地中間管理事業の活用促進）

- ・基盤整備事業との連携を強化し、規模拡大など、これからの経営に見合った効率的で働きやすいほ場の整備
- ・遊休荒廃地防止に向けた受け渡し手順の整備など後継者のいない樹園地の安定的継承の体制確立
- ・人・農地プランの見直しや農地中間管理機構や農業委員会（農地利用最適化推進員）との連携による農地の利用集積を推進

施策の展開方向に関する具体的な実行項目

○需要に応じた米生産を基本に、良食味米や業務用米・酒米などの生産拡大と収益性の高い米生産を推進

- ・「幻の米」、「村長の太鼓判」、原産地呼称管理制度「認定米」などの良食味米の生産を推進
- ・需要が拡大傾向にある「あきだわら」等の中食・外食業務用米・「金紋錦」・「山恵錦」等の酒米の生産を推進
- ・関係機関団体と連携し、良食味米の認知度向上
- ・雑草イネの撲滅と水稻直播栽培等による省力化・低コスト生産を推進
- ・カイゼン手法を活用した生産工程の見直し・最適化等による経営力の強化を推進
- ・水田農業経営の複合化による経営体質強化を推進

*良食味米、業務用米等の栽培面積
地域の主な良食味米・業務用米・酒米の栽培面積を集計したもの

○収益性の高い効率的な果樹経営の推進と高品質な果実づくりの推進

- ・有望新品種の導入・拡大の推進（りんご：リンゴ長果 25、ぶどう：ブドウ長果 11、すもも：スモモ長果 1 など）
- ・シャインマスカット等無核ぶどう産地の拡大と需要に応じた長期出荷や輸出の強化
- ・りんごの低樹高栽培等による効率的な果実生産の推進
- ・樹園地の計画的更新や樹園地の継承・流動化を推進

*果樹オリジナル品種等の栽培面積
県の達成指標と同様。シナサイト、シナゴールド、秋映、シナドルチェ、ナガハール、シャインマスカット、リンゴ長果 25、ブドウ長果 11、スモモ長果 1 の集計

○きのこ経営管理力の強化、J-GAP 等安全・安心・環境対策を支援

- ・経営改善のための個別経営体の指導・支援と中小経営体の展開方向の検討
- ・産地の信頼性をより高めるため J-GAP 取得を推進
- ・ロス率低減を図るための害菌の発生防止技術、害虫発生予測を活用した防除対策の指導
- ・使用済み培地の再利用や堆肥化、バイオマス資源としての活用等の利活用促進

○環境にやさしい農業と GAP 等農産物の安全・安心への取組を強化

- ・コスト低減、省力化に注目した環境にやさしい農業技術の導入を推進
- ・環境にやさしい農産物認証制度等各種制度の活用を促進
- ・環境農業に取り組む生産者及び農産物の情報発信を推進
- ・GAP の推進による農産物の安全性確保

重点取組 3 野菜・花き・畜産 特色ある多彩な農産物等の生産強化

施策の展開方向に関する具体的な実行項目

- アスパラガス産地の再構築と果菜類（ズッキーニ・キュウリ等）を拡大
 - ・ 土壌病害対策と排水対策の徹底による作付の拡大と収量の向上
 - ・ 雨よけ等施設化や適正な立茎管理などによる長期出荷体制を強化
 - ・ ズッキーニ・キュウリ・ジュース用トマト等の果菜類の生産量と品質の向上

- シャクヤクの有利販売と露地花き品目（ソリダゴ、ヒペリカム等）を拡大
 - ・ シャクヤクの早期出荷のための計画的な保温・加温栽培の推進
 - ・ ソリダゴ、ヒペリカム等宿根草類の生産量と品質の向上

- 地域ブランドである畜産物の安定生産を支援
 - ・ 中核的な畜産農家の法人化を図り、施設の活用及び担い手の確保・育成を推進
 - ・ 畜産クラスター事業等の活用によるブランド畜産物の安定生産の推進
 - ・ 信州あんしん農産物(信州プレミアム牛肉)生産認定農場の取組支援

- ぼたんこしょう等の地域の特色ある伝統野菜の安定生産を支援
 - ・ 伝統野菜の生産者の拡大と栽培技術を継承

重点取組 4 持続的な農業生産活動を支える基盤整備

施策の展開方向に関する具体的な実行項目

- 基幹水利施設の機能を維持するための機能保全計画の策定と整備・更新
 - ・機能診断の実施と診断に基づく保全計画の策定
 - ・保全計画に基づく基幹水利施設の長寿命化を図る整備・更新
 - ・重要構造物（頭首工、揚排水機場、水路橋、ダム、水路トンネル、サイホン）の重点的な整備

- 畑・樹園地の収益性を維持し、高めるための畑地かんがい施設の整備・更新
 - ・畑・樹園地に設置された畑地かんがい施設の幹線管渠の整備・更新
 - ・散水施設の整備・更新にあたり、維持管理費の節減につながる構造等を十分に検討

- 担い手への農地集積につながる農地の耕作条件の改良・改善
 - ・水利施設や農道整備等の耕作条件の改善により、担い手への集積が一層進むよう条件を整備
 - ・収益性の高い農作物の導入のため、排水対策・かん水施設等を具備したほ場や畑樹園地の整備
 - ・水管理や草刈りの省力化に向け水路のパイプライン化や畦畔の工夫

Ⅱ 消費者とつながる北信の「食」

重点取組 5 地元「食」の魅力の共有・発信と地消地産の推進

施策の展開方向に関する具体的な実行項目

- おいしい信州ふーど(風土)・地元農産物の魅力の共有と県内外への発信
 - ・関係機関団体と連携し、地域の生産者・利用者・消費者が地元農産物の魅力を感じるイベントを支援
 - ・商談会等の機会を通して、生産者と実需者のマッチングを支援
- 飲食店、宿泊・学校給食施設等における地元農産物の食材利用・地消地産を促進
 - ・関係機関団体と連携し、旬の農産物の情報提供や食べ方の提案、各種イベントで地元食材の活用を推進
 - ・学校給食施設等における地元農産物の活用と計画的な供給を促進
- 学校や地域において、次代を担う子どもたちを中心に食育を推進
 - ・地元農産物を活用した「食」に関する学習活動を支援
 - ・農業体験を通じて、地元農産物や農業に関する理解を促進
 - ・農村女性等による郷土料理や伝統食など食文化の継承支援
 - ・健康長寿県を支える「食」に関する情報発信や取組を推進
- 地元農産物の販売拠点となる農産物直売所の機能強化を支援
 - ・観光客や地域住民等に対する旬の農産物や食に関する情報発信を強化
 - ・農産物直売所を対象に、出荷品目の栽培や販売強化のための研修会を実施
 - ・農産物直売所を核とした地域内流通(宿泊施設等への食材供給)を推進
- 農業者と2次・3次事業者による6次産業化等による農産物の付加価値化を支援
 - ・信州6次産業化推進協議会における推進員・プランナーの活用により、農産物の加工品等の開発・販売を支援

Ⅲ 人と人がつながる北信の農村

重点取組 6 農村が有する多様な資源の維持・活用と農村の活性化

施策の展開方向に関する具体的な実行項目

- 農業・農村の多面的機能の維持や農業生産活動の継続に向けた地域ぐるみの共同活動を支援
 - ・多面的機能支払事業、中山間地域等直接支払事業の取り組みの拡大により、農地、水路・農道等の保全活動、農業生産活動の継続など地域ぐるみの共同活動を支援
 - ・地域のリーダーの育成や活発な共同活動につながる研修会等の開催

- 中山間地に立地する農村の保全（ため池・地すべり防止施設・水路の保全）
 - ・ため池の耐震対策工事の実施による安全確保
 - ・中山間地に立地するため池の適切な管理方法の策定
 - ・地すべり防止区域内の施設の長寿命化計画の策定
 - ・中山間地の山腹水路の維持・保全（雪に強い水路）

- 遊休農地の発生防止や再生・活用と野生鳥獣対策を支援
 - ・農業委員会と連携した遊休農地の発生防止活動の実施、遊休農地利活用等交付金などの活用による発生防止対策と再生を支援
 - ・野生鳥獣から農作物を守る地域ぐるみによる効果的な対策を支援（防護柵設置、環境整備、捕獲等を総合的に支援）

- 地域住民の参加による農村コミュニティの活性化を支援
 - ・地域住民も参加する農業・農村の多面的機能の維持活動や野生鳥獣対策の活動などを通して、農村コミュニティの活性化を支援
 - ・地域住民と農業者のふれあう機会を拡大する農業体験、農村女性による料理体験などを支援
 - ・定年帰農者や農ある暮らしを求める者に対しての農業技術の習得を支援

- 農業資産・農村資源を観光等に活用した農村の活性化を推進
 - ・疎水・ため池・棚田、民宿、農業体験、郷土料理等を学習教材や観光資源としたツアーリズムなどにより、都市住民等との交流や農村ビジネスを促進
 - ・疎水が持つエネルギーを小水力発電に活用し施設管理費の軽減